

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2021年6月
第45号
(年4回発行)

夏号

発行部数3千部



「仏教のはじまり1」お釈迦さまの生涯（丹羽住職インタビュー）

シリーズ浄土宗／浄土宗と浄土真宗

実践教室／合掌の意味

Q&A「ご冥福をお祈りします」冥福とは？

お盆会・合同新盆法要のご案内

仏教のはじまり 1「お釈迦さまの生涯」

仏教は、苦しみからの解放を目ざし、その方法を説く教えと
われています。その教えの原点は仏教の開祖お釈迦さまにありま
す。

お釈迦さまとは、どのような時代のど
のような人物だったのでしょうか？



ブッダガヤの大塔菩提寺



問 お釈迦さまは実在の人物なのでしょうか？

住職 はい。紀元前5世紀ごろの実在の人物です。お釈迦さまが実在する人物であることが確認されたのは、1896年にドイツ人の考古学者がネパールでお釈迦さまの誕生地を記した石柱を発見し、この内容が古文書の記録と一致したからとのことです。

問 お釈迦さまの生涯では、四つの出来事が重要なものとされているそうですね。

住職 お釈迦さまに関しては、さまざまな伝説があります。出生、成道、初転法輪、入滅(涅槃)が特に重要視されており、インドでもそれぞれの場所が四大仏跡や四大聖地と言われているのですよ。



お釈迦さまが悟りを開いたとされる場所。現在ある菩提樹はその時の子孫と言われている。

お釈迦さまの生涯



お釈迦さまは、シャーキヤ族の王子として生まれ、本名をシッターールタと言いました。釈迦とは、このシャーキヤという部族名に由来するものです。

ルンビニの園で生まれたお釈迦さまは、その後結婚し子どもも設けたましたが29歳で出家します。出家した後は、さまざまな師を求めて遍歴し教えを請い、さらに苦行を積みますが自分の求めているものはなかなか手に入らない。そこで苦行が無益であることに気づいたお釈迦さまは苦行をやめブツダガヤの菩提樹の下で禅定に入り真理を悟って仏陀となりました（仏陀とは「目覚めた人」という意味）。お釈迦さまが35歳の時でした。そして、このとき悟った真理が縁起の理論であったと伝えられています。その後、お釈迦さまはサールナートの鹿野苑を訪れ、初転法輪と言われる初めての説法を5人の

旧友に向かつてを行いました。説法の内容は、四諦と八正道に関するものでした。これを機に釈迦の元には多くの人々が集まるようになり、お釈迦様の仏教教団は1000人以上の弟子を抱える大教団になりました。その後も、伝道の旅を続け、クシナガラで80歳の時に亡くなりました。



問 縁起の理論と四諦八正道とは何ですか？

住職 人間は、様々な悩みや苦しみを持って生きています。縁起とは、その苦しみを巡る因果関係のことで、四諦八正道は、苦しみに関する4つの心理と苦しみを無くす為の8つの実践方法のことです。

（真理と実践方法については、次号に掲載します）

問 ところで、ご住職は、2018年にインドを訪れていらっしゃいますが、4大遺跡は巡られたのでしょうか？

住職 成道の地ブツダガヤと、初転法

輪の地サールナートに行きました。ブツダガヤの大塔菩提寺の裏手には成道の際にその木の根元に坐っていたとされる菩提樹があるんです。現在の木は、お釈迦さまの頃の樹の子孫だそうです。

問 2500年近くも前に実在の人物が坐っていた場所なのだと考えると、宗教の教えで繋がっている時間の長さや歴史を感じて胸が熱くなりますね。

でも、お釈迦さまの様々な逸話を聞いていると実在の人物に思えないような物語的な要素が多いように思うのですが…。

住職 お釈迦さまが亡くなった後、語り継がれていく中で次第に神格化が進んでいったからでしょう。「ジャータカ」というお釈迦さまの前世物語は、「お釈迦さまは輪廻転生を繰り返しながら多くの善行を積んだことで仏陀になった」と考えられるようになり作られたのだそうです。

問 「ジャータカ」は興味深いです。次回は、サールナートでの初転法輪についてのお話を伺いたいと思います。

浄土宗と浄土真宗

「南無阿弥陀仏」というお念仏を信心の行とする浄土宗と浄土真宗。

法然上人の開いた浄土宗と、親鸞聖人を宗祖とする浄土真宗はどのようなつながりだったのでしょうか。

法然上人は、比叡山で修行しますが、43歳で下山します。その後、観無量寿経の教えを基に「専修念仏」の思想にたどり着き、浄土宗の開祖となります。法然上人の教えに出会い、感銘を受けた親鸞聖人は29歳の時に法然上人に弟子となり、その後、絶対他力の思想を築きます。



法然上人 (1133~1212) 年



親鸞聖人 (1173~1262年)

浄土宗の教えの根幹「専修念仏」

法然上人は、これまでにあった難解な学問や修行を必要とする仏教の教義ではなく、ただひたすらに南無阿弥陀仏と念仏をとなえれば誰でもが等しく救われると説きました。その革新的な教えは、戦乱と飢饉の中、救いを求める民衆の間に瞬くまに広がっていきました。

念仏には、声に出してとなえる称名(口称)念仏と、仏様や極楽浄土を思い浮かべる観想念仏があります。法然上人は称名念仏こそが、往生につながる唯一最上のものでした。この、他の一切の修行を捨てて念仏のみを称えることを専修念仏といい、これが浄土宗の教えの根幹なのです。

「専修念仏」から「本願他力」「自然法爾」へ

法然上人の信望篤い弟子であった親鸞聖人が、法然上人から受け継いだ専修念仏を独自の思想に確立したのが浄土真宗です。

親鸞聖人は法然上人の説く専修念仏の教えを独自の「本願他力」「自然法爾」という思想として確立していきました。

「本願他力」とは法然上人の説く「ただ念仏すれば救われる」というものから、阿弥陀さまの救いは念仏するわれわれの力(自力)によるのではなく、あくまでも阿弥陀さまの願ひ(本願)によるもの。「自然法爾」もまた凡夫の自力のほかにをまじえない、阿弥陀仏の誓願を意味します。

こうして法然上人が築いた万人救済の思想は、弟子の親鸞聖人によって絶対他力の信心として展開していったのです。

合掌の意味

私たちは、様々なシーンで手を合わせます。法事に参列した際、寺社へ参拝した時、お墓やお仏壇の前、そして「ありがとう」や「ごめんね」の言葉とともに手を合わせることもあります。日常生活の中の何気ない動作にもある合掌。私たちはなぜ合掌をするのでしょうか。



仏教を通じて日本に伝わった合掌

元来、合掌はインド古来の礼法で、仏教が起るより前からインドでは合掌の姿で挨拶が交わされてきたそうです。胸や額の前で両手を合わせて相手への敬意を表します。日本へは仏教の伝来と共に合掌が伝わったとされています。

敬意を表した姿

インドでは合掌し「ナマステ」と挨拶が交わされます。「ナマス (namas)」は敬意を意味し、「テー (te)」はあなたにという意味です。つまり、「あなたに敬意をもって礼拝します」という敬いの気持ちを表した挨拶なのです。「南無阿弥陀仏」の南無もナマスからきており南無には帰依するという意味があります。また、インドでは右手が清浄な手、左手が不浄な手とされ、仏教においては右手が仏の象徴、左手は衆生（迷いの世界）を表します。仏前で両手を合わせることでこの二つが一体となる意味を持ち、仏に帰依し、仏に救われていく姿であると言われています。

「いただきます」は感謝の気持ち

私たち日本人の文化の中では、合掌は感謝の意味が強く含まれています。食事の挨拶の際に「いただきます」と手を合わせる人も多くいるのではないのでしょうか？ これも、命に感謝し敬う心を表したもののなのです。

浄土宗の合掌礼拝

浄土宗の合掌は「堅実心合掌」と言われるもので、仏さまと自分が一心同体であり、仏さまに帰依するしつかりとした気持ち、心構えを表しています。堅実心合掌は、両手のひらと指とを隙間のないようにぴったりと合わせ指をまっすぐに伸ばし四指の間を閉じます。親指と人差し指の間は数珠をかけることが多いので自然に開きます。合掌した両手は胸の前でやや向こう側に倒れます。この時、腕と体の角度が45度になるのが美しく、自然な姿勢です。



「挨拶」【あいさつ】

「おはようございます!」「こんにちは~」

気持ちいい挨拶を交わすとそれだけで晴れやかな気分になりますよね。さて、この「挨拶」の言葉、元は禅宗のお坊さんたちの間で師が修行者の悟りを試すための問答に用いられていた「一挨拶（いちあいっさつ）」からきているのだとか。「挨」推しはかる、近づく、寄り添う、「拶」は、せまる、切り込むとい



う意味があります。禅宗では、師匠が弟子に言葉を投げかけ、弟子の返答によってその者の修行の度合や悟りの深さを見極めます。その際、師匠が弟子に一つ一つ切り込んで試す意味として、「一挨拶」が用いられているそう。そして、これが転じて、日本では出会いや別れのときに親愛の言葉や動作を交わすことを指し示す語として使われるようになったそうです。



また、冥福を祈るのは、あくまでも「故人」に対してですので、ご遺族に向けてかける言葉ではありません。霊前や棺など故人を前にして「ご冥福をお祈りいたします」と言うのは問題ありませんが、ご遺族に対しては「故人の、ご冥福をお祈りいたします」と言葉をかけるのがよいでしょう。



A 冥福とは死後の幸せという意味で、亡くなった方へのあの世での幸せを想う言葉です。「冥」の漢字は「光がなく暗い」の他に「死後の世界」という意味も持っています。死後を指す冥とは冥界のことです、それを冥土（冥途）とも言い、亡くなった人の魂がさまよいゆく所とされています。お悔やみの言葉として述べられる「ご冥福をお祈りします」とは、「亡くなった方が冥途でさまようことなく、無事に転生できるように」との願いを込め使われているのです。

Q 弔電の文例を見ていたら「ご冥福をお祈りします」とありました。そういえば、その言葉は何度も耳にしたことがあります。改めて文字を見ると「冥」の文字は、「光がない」や「暗い」「闇」などを表す漢字だと思います。冥福とはどのような事なのでしょう？

掲 示 板



西願寺 お盆会のご案内

お盆会 7月13日(火)～7月15日(木)
旧盆会 8月13日(金)～8月15日(日)

■ 合同新盆供養 ■

日時 令和3年8月8日(日) 10時～
場所 西願寺本堂

■ 盂蘭盆会合同供養 ■

日時 令和3年8月13日(金) 10時～
場所 西願寺本堂

■ 西願寺大施餓鬼会法要 ■

施餓鬼会は、「救拔焰口陀羅尼經」というお経に説かれた阿難尊者のは話しに由来し、施餓鬼棚に「三界万霊牌」や新盆の戒名を記した位牌を置き浄水や食物を供え、五如来の「施餓鬼幡」を立てて法要を営むのが慣わしです。



施餓鬼棚

※各行事にご参加の方には、マスクの着用をお願いしております。コロナウィルス感染拡大予防にご協力ください。



■お便り募集■
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区麹町二・十三・一〇一
FAX 03 (32205) 1602 Mail : info@io.co.net

■次号予告

次号は令和三年九月発行予定の「秋号」です。

西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789
彩の都メモリアルパーク TEL. 048-921-4194



◆編集後記

初めてコロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されてから1年が経ちました。世の中はまだ、コロナウイルスに悩まされ、苦しめられている日々ではありませんが、この一年の間にワクワクが作られ世界も徐々に前に進んでいるようにも感じます。皆が笑顔で集える日が来るのが待ち遠しいですね。

さて、今号の「さんが」では、ご住職のお話しを交えながらお釈迦さまの生涯について掲載しました。仏教を学んでいると、まるで実在の人物の話とは思えないエピソードに彩られた数々あるお釈迦さまの逸話に出会います。そこには、お釈迦さまを慕い教えを伝えていく後世の人々の思いと壮大な想像力があり毎回圧倒されます。今回ご住職の話しにも出てきた「ジャータカ」もその一つです。ジャータカ物語は「イソップ物語」や「アラビアン・ナイト」「今昔物語」など世界中の説話文学にも大きな影響を与えているのだそう…。何だかますます興味が湧いてきました。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部